マンスリー・ジャーナル　since2020

法令や制度が苦手（好きでない）な方へ

月刊介護ニュースダイジェスト
「介護保険制度改正＆報酬改定速報！」

Appare Care Service Monthly Journal



2026
0820
Vol.64

8

天晴れ介護サービス
総合教育研究所（株）
代表取締役　榊原宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

マンスリージャーナルについて

■法令や制度が苦手（好きでない）な方へ
マンスリー･ジャーナル「月刊介護ニュースダイジェスト」

■信じてもらえないかもしれませんが……
私も法令や制度、そして最新情報については
苦手ですし、あまり好きでないですし、
正直、あまり興味もないのです（笑）

■ただ、そうも言ってられない立場なので……
毎週のメルマガに加えて、毎月話す機会を作ってしまい
法令や制度、最新情報に触れる機会を作ろうと思って始めたのが
このマンスリー・ジャーナルです

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

ご視聴にあたって

■ライブセミナー　21:00～21:45
ご意見/ご感想/ご質問などのコメントを是非入れて下さいませ

■セミナー後「アーカイブ動画」をご覧頂けます
「PDF資料」はアンケートにご回答頂けた方にお送りします
※リーダーズ･プログラム（年会費）､その他該当会員の方は
ライブラリより、動画・資料をご覧頂けます。

■これまでのセミナー動画＋資料は、
一般販売（レンタル）も行っています（500本超！）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

講師プロフィール



◎昭和52年、愛知県生まれ　介護福祉士、介護支援専門員
◎京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務
◎社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、
有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の実務に携わる
◎15年間の現場経験を経て､平成27年4月｢介護現場をよくする研究･活動｣を目的に独立
◎著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間400回を超える
◎ブログ、facebook、毎朝5:55のライブ配信など毎日更新中
◎YouTubeや動画ライブラリーでは500本以上の動画を配信
◎介護と介護事業を守り､よくする！｢事業経営＆教育インフラ｣
リーダーズ･プログラム（年会費制）主催
◎4児の父、趣味はクラシック音楽、温泉＆サウナ、神社仏閣巡り
◎天晴れ介護サービス総合教育研究所 https://www.appare-kaigo.com/ ｢天晴れ介護｣で検索



■日本福祉大学　社会福祉総合研修センター　兼任講師
■全国有料老人ホーム協会　研修委員　　■稲沢市　地域包括支援センター運営協議会委員
■7つの習慣®実践会　認定ファシリーテーター
■出版実績：中央法規出版、日総研出版、ナツメ社、その他10冊以上
■平成20年第21回ＧＥヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞
■榊原宏昌メールアドレス　sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

介護と介護事業の両輪から
その人らしい暮らしと人生を応援する



➢facebook、ブログ、YouTubeライブ等を毎日更新、情報発信
➢メルマガ（日刊:介護の名言、週刊:介護現場をよくする研究＆活動通信）
➢公式LINEでも毎日情報発信をしております
➢以上の情報はHP（「天晴れ介護」で検索）より、特典たくさんあります！

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

天晴れ介護サービスの
ミッション･ビジョン･バリュー（MVV）

■ミッション（使命）
◎介護と介護事業の両輪から
　その人らしい暮らしと人生を応援する
◎「介護はいい仕事だな」と思える専門職を
　「介護事業はいい事業だな」と思える経営者を
　将来にわたり１人でも多くする

■ビジョン（理想の未来）
◎ケアする人がケアされる循環が当たり前の世界
◎人同士がお互いに学びあい、気持ちよく支えあう世界
◎誰もが「いい人生だなぁ」と思える世界
◎**2065**年、天晴れ介護サービス**50**周年（約**90**歳）には
　みんな元気＆笑顔で、超高齢社会のピークを乗り切る

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

天晴れ介護サービスの
ミッション･ビジョン･バリュー（MVV）

■バリュー（提供する価値）

◎介護領域のリーダー＆パートナーとして、
国内外から必要とされる存在になる
（そうだ、天晴れさんに聞いてみよう！）

◎ケアする人がケアされる循環型社会
人が力を発揮して成果を上げる組織や仕組みを作るための
知恵を体系化＆インフラ化し、自らも実践・率先垂範する
（困ったら天晴れさんを見てみよう！）

◎介護と介護事業のプロと言える法人・人材を
将来に渡って輩出する
（天晴れだからこそできる仕事！）

「天晴れ」の由来 ☞☞☞

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

天晴れ介護サービスの
ミッション･ビジョン･バリュー（MVV）
AIによる解説音声

https://drive.google.com/file/d/1oWsF1NOzBWZi6O7X3zYUKXGOMX7Nz6xZ/view

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

著書・雑誌連載





Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

9

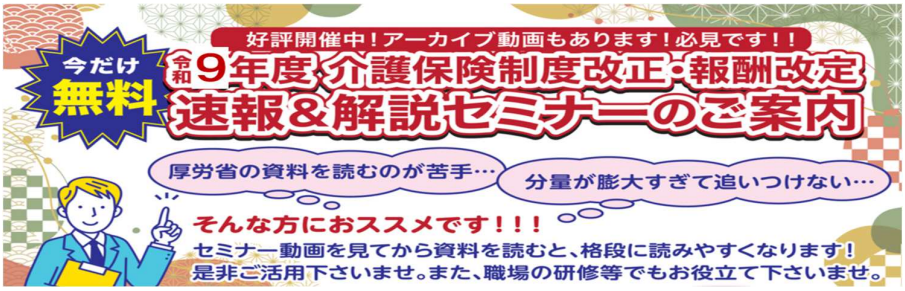
Amazonランキング４部門１位！



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

10

制度改正　速報＆解説セミナー動画



参加者さんから頂いたご感想です

- 自分で資料を読むのは辛いので、毎回、**要点を整理して分かりやすく解説**してくれて本当に助かります！（女性、40代、管理者）
- 今回の改定は、本セミナーをずっと受けているので流れがよく分かり、**いつもより不安が少ない**です。（女性、40代、経営者）
- 経営や現場のこともよく分かっている講師の解説なので、事業計画や現場の**実践に役立つ内容が多い**です。（男性、50代、本部）
- 大変勉強になりました。**無料ではもったいないくらい**です。（男性、60代、経営者）
- **ものすごく整理できました**。ありがとうございます。（50代、男性、経営者）
- こうして見ると、このライブは**業務の振り返り**でもあるので**毎回勉強になります**。引き続き追っかけていきたいと思います。（30代、男性、介護職員）

■以下3本必見です！
・介護保険部会まとめ
・補助金＆処遇改善加算
・職場環境等要件詳細

■さらに！
ご登録頂いた方には
「運営指導対策セミナー動画（通常有料）プレゼント中！

11

2026年6月　「11TOPIX」

介護保険法などの改正案、参院厚労委で可決　今国会で成立
SS、審議会で各種加算の要件緩和を求める　送迎加算の引き上げも
通所介護入浴介助加算、算定率1割前後　見直しを求める声噴出
通所介護の送迎、報酬の支援を求める声相次ぐ　自治体も問題提起
訪問介護、併設型など事業形態ごとの経営状況を把握へ

小多機や認知症GH、厳しい経営環境に危機感
介護給付費分科会が示すサービスごとの「現状と課題」「論点」
介護報酬、12%引上げ要請　介護職賃金を2030年までに全産業平均へ
埼玉ケアマネ殺害、厚労省が安全確保の徹底を呼びかけ
ケアマネ法定研修「復職のための簡素な手続きに」

テクノロジー活用、最適解は「地道に泥臭く」カギを握る対話の力

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

12

2026年7月　「14TOPIX」

骨太方針に「他職種と遜色のない処遇改善の実現」を明記
新類型「登録施設介護支援」、既存居宅は新規指定手続き不要
「特定地域」厚労省が基準素案　約2割の市町村が全域該当
過疎地の介護体制　人員配置基準の弾力化へ議論本格化
特養・老健の基本報酬「異次元の増額を」審議会で要請

居宅介護支援の特定加算、重度者割合や24時間体制の要件緩和
居宅介護支援、基本報酬や処遇改善の引上げを求める声相次ぐ
訪問介護、地域型と併設型のメリハリ検討
高市首相、現役世代の保険料引き下げ明言
政府、家事支援の国家資格を新設　成長戦略を閣議決定

福祉施設建設費が過去最高　特養の平米単価44万円超
ケアマネの再研修、廃止で大幅スリム化へ
障害福祉の生産性向上、来年度改定へ
SOMPOケア、介護職の「5連休制度」が定着

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

2026年8月　「12TOPIX」

登録施設介護支援の報酬、審議会で居宅の踏襲を求める声相次ぐ
住宅型ホームの登録制、既存施設の大半が対象に
ケアマネの平均年齢、55歳超える
居宅介護支援の事業所数、8年連続で減少
デイサービスの事業所数、4年連続減

訪問介護の事業所数、過去最多を更新　続く微増傾向
保険外サービス、未経験層の4割が「利用したい」
ケアプー、来年1月にシステム統合　利用料は無料へ
介護職員の離職率、過去最低を維持　全産業を下回る
スポットワーク、介護事業所の8.9%が活用

単発バイトから長期採用へ　タイミーが新プランを8月から展開
来年度の介護報酬改定、関係団体の意見交換会

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

登録施設介護支援の報酬、審議会で居宅の踏襲を求める声

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は5日、来年度の介護報酬改定に向けた協議を進めている審議会（社会保障審議会・介護給付費分科会）で、住宅型有料老人ホームの入居者を対象とするケアマネジメントの新類型「登録施設介護支援」を取り上げた。

今後の論点として、「適切な報酬のあり方をどう考えるか」を提示。現場の関係者や有識者らで構成する委員からは、既存の居宅介護支援の報酬を概ね踏襲するよう促す声が相次いだ。

登録施設介護支援は、今年6月に成立した改正法に盛り込まれたケアマネジメントの新類型。住宅型ホームの入居者のケアプラン作成、生活相談などを担うことに加え、原則1割の自己負担を徴収するという特徴もある。焦点は報酬・基準の具体像で、厚労省はこれから年度末にかけて議論を本格化する構えだ。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

登録施設介護支援の報酬、審議会で居宅の踏襲を求める声

「制度の複雑化を避けるためにも、居宅介護支援の現行の報酬が継承されることが望ましい」この日の会合では、全国老人福祉施設協議会の小泉立志副会長がこう要請。日本介護支援専門員協会の濵田和則副会長も、生活相談をはじめとする新たな業務が加わること、事業所が複数の住宅型ホームの入居者を受け持つことなどを念頭に、「現行の居宅介護支援に準じた報酬となるようぜひ配慮してほしい」と求めた。

会合ではこのほか、住宅型ホームの系列事業所による不適切な「囲い込み」や「使い切り」について、十分な是正措置を組み込むよう求める意見が続出した。「入居者の自立支援に逆行する」「看過できない」。有力団体の委員から、こうした厳しい批判も噴出した。

一方、既存の同一建物減算のあり方をめぐっては意見が分かれた。

複数の委員が減算の強化・厳格化を訴えた一方で、健全な事業所にも不利益が及ぶと心配する委員が持論を展開。日本医師会の江澤和彦常任理事は、「移動コストを勘案することは当然だが、行き過ぎた同一建物減算はいかがなものか。質の高いサービスを提供している事業所は評価されるべきで、良貨が悪貨に駆逐されることのないようにしてほしい」と呼びかけた。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

住宅型ホームの登録制、既存施設の大半が対象に

※介護のニュースサイトJOINT参照

住宅型有料老人ホームに新たに導入する事前規制の登録制をめぐり、厚生労働省は29日、具体的な制度設計に向けた議論を検討会で開始した。その運営体制や人員配置をはじめ、住宅型ホームの登録基準のあり方などが今後の大きな焦点となる。

住宅型ホームの登録制は、今年6月に成立した改正法に盛り込まれた新たな決まりだ。厚労省は今回、要介護度が重かったり医療ニーズが高かったりする入居者が増えている実態を踏まえ、行政による事前チェックの強化に踏み切った。運営の健全性・透明性の向上、サービスの質の担保、安心・安全の確保などにつなげる狙いがある。

厚労省は検討会で、登録制の導入に向けた今後の論点として、
（1）登録基準
（2）登録対象外の住宅型ホーム（届出ホーム）の遵守事項
（3）自治体や事業者の事務手続きと情報公表
（4）介護保険事業計画における住まいの位置付け
（5）対象となる住宅型ホームの範囲
（6）入居者紹介事業者の優良認定制度
の6項目のあり方を提示した。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

住宅型ホームの登録制、既存施設の大半が対象に

※介護のニュースサイトJOINT参照

このうち登録基準では、夜間の安全の確保や介護・医療ニーズへの対応などを前提に人員配置、設備をどう考えるかが問われる。厚労省は会合で、「現行の標準指導指針をひとつの基準としつつ、介護付きホームやサ高住との均衡に配慮しながら定める」と説明した。

登録制の対象となる住宅型ホームの範囲については、中重度になっても住み続けられる施設、一定の認知症や医療ニーズがある高齢者を受け入れる施設などを含める方向で、厚労省は「既存の住宅型ホームの大半が対象になる」との認識を示した。

今後、今秋をめどに議論をまとめて審議会（社会保障審議会・介護保険部会）へ報告する予定。年内の政省令の公布を目指す。登録制の施行は改正法の公布（今年6月）から2年以内の予定。施行の円滑化に向けて、厚労省は一定の経過措置も設ける方針だ。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

ケアマネの平均年齢、55歳超える

※介護のニュースサイトJOINT参照

介護労働安定センターが7月末に公表した最新の「2025年度介護労働実態調査」では、ケアマネジャーの高齢化が一段と進んでいると報告されている。ケアマネジャーの平均年齢は、介護に携わる職種の中で最も高い55.1歳。前年度の54.3歳から0.8歳上がった。ホームヘルパーの平均年齢は51.1歳で、ケアマネジャーはこれを上回っている。

ケアマネジャーの年齢構成をみると、60歳以上の割合は35.4%。前年度の31.5%から3.9ポイント上昇し、全体の3人に1人を超えるに至っている。この調査は昨年10月に行われたもの。全国の事業所・施設で働く介護従事者が対象で、2万675人から有効な回答を得ている。

地域によって深刻さに濃淡があるものの、全国の介護現場では既にケアマネジャーの確保が大きな課題となっている。政府は今年度から介護報酬の「処遇改善加算」を居宅介護支援に導入したが、対応が遅いと首をかしげる関係者も少なくない。今後、高齢のケアマネジャーがリタイアしたり担当ケース数を減らしたりする事業所が増える見通し。こうした動きは、介護報酬・運営基準のあり方をめぐる議論にも大きな影響を与えそうだ。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

居宅介護支援の事業所数、8年連続で減少

※介護のニュースサイトJOINT参照

今年もトレンドに変化はなかった。居宅介護支援の事業所数の緩やかな減少が続いている。厚生労働省が29日に公表した統計（介護給付費等実態統計）によると、今年4月審査分の居宅介護支援の事業所数は全国で3万5551ヵ所。昨年より392ヵ所（1.1%）少なかった。減少はこれで8年連続となる。事業所数はピークだった2018年から今年までに、11.3%減ったことになる。

ケアマネジャーの高齢化やなり手不足が背景にある。事業所の柱が一線を退くのを機に暖簾を収めるところが多いほか、主任ケアマネジャー（管理者）ら人材の確保が難しいことなどで新規開設にも勢いがない。経営の安定化に向けた事業所の中規模化、大規模化が進んでいるという声もある。もっとも、事業所数の減少が直ちにサービス総量の低下や“介護崩壊”を意味するわけではない。体制の過不足は地域差が大きい。

今後も全国各地で介護ニーズが変動し続けていくなか、それぞれの地域に必要なケアマネジメント基盤をどう維持していくかが課題だ。人材の確保が難しいため、あるいは貴重な既存のケアマネジャーを守るために、すでに新たな利用者をなかなか受け入れられなくなっている事業所もある。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

ＡＩケアプランについて

https://www.appare-kaigo.jp/17706730721783

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

導入法人様より

昨日アカウントが付与された「●●●」
賢い！早い！すごい！と、居宅の所長が、私の部屋に駆けつけてくれました
榊原先生のおかげです！早くお礼を！！って急かされて、今（笑）

「嬉しい」って言葉が何度も出てきましたし、
「ケアプランが、今までよりも更に良くなる」って
サービス担当者会議の作成ツールも早速試してみたいと張り切っています。

まずは、手を動かして、実際に触ってみないことには
何も前に進まない！って、居宅のメンバー、みんなとても前向きです
先生、本当にありがとうございます

施設用も、後日オンラインデモを実施していただくことになりました
特養とグループホームへの試験導入を前提に
部長をチームリーダーに任命しました。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

デイサービスの事業所数、4年連続減

※介護のニュースサイトJOINT参照

長く続いた横ばいの時期を経て、近年は少しずつ減っていくトレンドとなっている。厚生労働省が7月末に公表した最新の統計（介護給付費等実態統計）で、全国のデイサービスの事業所数が明らかになった。

今年4月の審査分をみると、デイサービスの事業所数は4万2125ヵ所。前年から531ヵ所減り、4年連続の減少となった。地域密着型は減少幅が相対的に大きい。前年から350ヵ所減の1万7780ヵ所となり、一貫して減っていく傾向が続いている。2017年からの比較では12.3%の減となった。

また、昨年から減少に転じた通常規模型・大規模型の事業所数も引き続き減少。今年は2万4345ヵ所で、前年より181ヵ所少なくなった。

事業所数が減少する背景には、深刻な人材難やコスト増、競争の激化、地方を中心とした介護ニーズの縮小などがある。あわせて、累次の介護報酬改定も影響を与えているとみられる。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

訪問介護の事業所数、過去最多を更新　続く微増傾向

※介護のニュースサイトJOINT参照

前年比でほぼ横ばい。わずかだが過去最多を更新した。厚生労働省が7月末に公表した最新の統計によると、今年4月審査分の訪問介護の事業所数は全国で3万5506ヵ所。前年を9ヵ所上回り、これまでで最も多くなった。増加はこれで7年連続。2020年代に入ってからの微増傾向に、今年も大きな変化は見られなかった。

訪問介護がこうした状況になっている背景要因の1つには、事業者の新陳代謝や業態の転換があるとみられる。中堅・大手の法人などは、都市部を中心に介護ニーズの拡大が続くとにらんで事業所の展開を進めている。また、有料老人ホームなど集合住宅の入居者を支える併設型の事業所も以前より増えた。

一方、ホームヘルパーの争奪戦も含めて事業所間の競争が激化し、撤退・廃業を余儀なくされるところがある。昨年の訪問介護の倒産件数は過去最多。とりわけ、地域の利用者宅を個別に訪ねる小規模な事業所の苦境が鮮明だ。

今後、既存のホームヘルパーの高齢化などで看板を下ろす小規模な事業所がさらに増える恐れがあり、地域のサービス提供体制の一層の弱体化が懸念されている。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

保険外サービス、未経験層の4割が「利用したい」

※介護のニュースサイトJOINT参照

訪問介護や訪問看護などの保険外サービスを展開するイチロウ株式会社が、要介護者とその家族900名を対象とした調査結果を公表した。保険外サービスの内容を「よく理解している」人は15%にとどまる一方で、まだ使ったことのない人の40%強が「利用したい（＊）」と答えた。背景には介護保険制度の限界も見え隠れする。
＊「利用したい」は、「ぜひ利用したい」と「条件が合えば利用したい」の合計。

調査結果によると、保険外サービスについては80%以上がその内容を十分に理解していない。しかし、実態として30%弱がすでに保険外サービスを「利用したことがある」と回答。調査結果のレポートでは、「必要に迫られて利用するものの、サービス全体の仕組みや選択肢までは理解できていない層が多い」と分析されている。

こうした状況の背景には、訪問介護などの介護保険サービスが地域に十分行き届いていない実情がある。調査結果をみると、保険外サービスの利用を検討する最大の理由は「家族介護に限界を感じたから」。土日のスポット利用を含む柔軟性や、急な体調の変化にも対応できる即時性など、介護保険サービスでカバーしきれない隙間を埋める機能への期待が高いことが分かった。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

ケアプー、来年1月にシステム統合　利用料は無料へ

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は29日、ケアプランデータ連携システムを介護情報基盤へ統合する計画について、概要を説明する通知を発出した。介護保険最新情報Vol.1529で現場の関係者に広く周知した。来年1月からシステムを統合・移行する予定だと明らかにした。在宅介護の生産性向上、情報連携の効率化や業務負担の軽減などにつなげる狙いがある。

移行後、もともと年額2万1000円だった利用料を無料とする方針も明示された。現在はフリーパスキャンペーンの期間中。今年度もケアプーの導入に料金はかからない。

システムの移行にあたり、全国の事業所は事前の準備が必要となる。

厚労省は今月から12月までを「引っ越し準備期間」と設定。移行先となる介護情報基盤の「介護WEBサービス（介護保険資格確認等WEBサービス）」への利用登録を呼びかけている。事業所に求められる対応は以下の通りだ。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

ケアプー、来年1月にシステム統合　利用料は無料へ

※介護のニュースサイトJOINT参照

（1）既に「介護WEBサービス」の利用登録を終えている場合＝改めての利用登録は不要。

（2）ケアプーのみ利用中の場合＝電子請求受付システムのID・パスワードを用いて「介護WEBサービス」への利用登録が必要。

（3）いずれも導入していない場合＝ケアプーの導入と「介護WEBサービス」への利用登録の両方が必要。

※ 保険者ごとの介護情報基盤の運用開始時期にかかわらず、すべての事業所で利用登録の対応が必要となる。

移行後はパスワードの入力が楽になったり、データのダウンロードが何度でも可能となったりするなど、利便性の向上が図られる。

厚労省は8月26日13時30分から、YouTubeライブで全国の事業所を対象としたオンライン説明会を開催し、システムの移行や必要な利用登録などについて具体的に解説する方針だ。この説明会は事前申し込み不要で、誰でも閲覧できる。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

介護職員の離職率、過去最低を維持　全産業を下回る

※介護のニュースサイトJOINT参照

介護労働安定センターは29日、最新の「介護労働実態調査」の結果を公表した。それによると、昨年度の介護職員の離職率は12.4%。前年度と変わらず、引き続き過去最低の水準を維持した。全産業平均の離職率は14.2%（＊）。介護職員は今回もこれを下回り、業界が人材定着で一定の成果を出していることが改めて浮き彫りになった。＊ 全産業平均の離職率＝2024年「雇用動向調査」。

業界横断的な人材争奪戦が激化するなか、働きやすい職場環境の整備や業務負担の軽減、賃上げなど現場レベルの努力が奏功している。これを後押しする国や自治体の施策も寄与したとみられる。ただし、今後の動向は予断を許さない。現場の関係者からは、報酬アップの遅れなどで他産業への人材流出が進むと懸念する声が出ている。どのサービスも人材難は深刻で、処遇改善の推進など支援策の一層の強化が欠かせない。

調査結果では足元の課題も明らかになった。離職率が20%以上と高い事業所が23.9%あるなど、職場間の格差は依然として大きい。また、年齢別でみると29歳以下の離職率が17.3%と最も高く、若者を定着させる取り組みの強化も求められそうだ。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

面談等のトレーニングアプリ「けあトーク」



リーダーのための
職員との関係づくり
＆指導力upに！

https://www.appare-kaigo.jp/1766369816619 8

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

スポットワーク、介護事業所の8.9%が活用

※介護のニュースサイトJOINT参照

介護労働安定センターは29日、最新の「2025年度介護労働実態調査」の結果を公表した。それによると、アプリなどを介して単発で働く「スポットワーク」を過去1年間に受け入れた事業所の割合は8.9%だった。人手不足感が強い事業所ほど利用率が高く、「大いに不足」とする事業所では15.3%に上っている。

スポットワークを利用した理由は、「マンパワーの確保が容易（47.1%）」や「繁忙帯にだけ雇える（37.1%）」が上位。「従業員の急な休みに対応できる」「面接や審査など採用プロセスを簡略化できる」といった声も上がっていた。

雇用した人の働きぶりでは、「普通」や「期待以上」が約7割を占めた。利用した事業所の28.0%が、正社員などへの雇用につなげた実績があると答えており、スポットワークが長期採用のルートとして一定の機能を果たしていることもうかがえる。

この調査は、介護労働安定センターが昨年10月に実施したもの。全国の1万8000事業所・施設が対象で、53.1%の8955事業所・施設から有効な回答を得た。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

単発バイトから長期採用へ　タイミー新プランを8月から展開

※介護のニュースサイトJOINT参照

スポットワークを仲介するタイミーは30日、事業者向けの新サービス「長期アルバイト採用サポートプラン」を8月1日から本格展開すると発表した。単発のスポットワークを入り口として、お試し勤務にあたる「プレバイト」を経て長期バイト雇用へつなぐ人材確保の新たな支援策だ。

事前の勤務を通じて職場の雰囲気を確認したい働き手と、採用難の解消や入社後のミスマッチを防ぎたい事業者、双方の課題解決を目指す。

長期バイト就業に関心のある人材にフォーカスして求人を公開できるほか、勤務終了後のアンケートで長期バイト就業の意向を確認し、直接アプローチできる機能などを備えた。まず「プレバイト」から始めれば、面接だけでは見えにくい現場での相性などをお互いに把握できるため、定着率の向上や早期離職のリスク減が見込める。

タイミーは3プランの月額料金を事業者向けに用意する。小川嶺代表取締役は、「スポットワークで業務内容や職場の雰囲気を知り、納得してから長期で働く『プレバイト』という新たな潮流が生まれつつある。これからもスポットワークを入り口に、多様な『はたらく』の選択肢につながる機会を提供していく」と語った。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

来年度の介護報酬改定、関係団体の意見交換会

厚生労働省は来年度の介護報酬改定に向けて、幅広い関係団体から考えを聞く意見交換会を今夏にも開催する。5日の審議会（社会保障審議会・介護給付費分科会）で提案し、大筋で了承を得た。

従来の「関係団体ヒアリング」を発展的に見直し、審議会の委員と関係団体との双方向の議論を重視する形式に変える。開催日程は従来の2日間から3日間へ拡大する。

意見交換のテーマは、「居宅サービス」「施設・居住系サービス」「医療系サービス」「中山間・人口減少地域関係」などと設定する。関係団体はそれぞれ希望するテーマに参加し、報酬改定の具体策について意見・要望などを伝える。

「中山間・人口減少地域関係」については、該当する自治体やそこで現場を支える事業者らも参加する見通し。来年度からの改正法の施行を見据え、厚労省は現場の実情を踏まえた議論を深めたい考えだ。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

2026年8月　「12TOPIX」

登録施設介護支援の報酬、審議会で居宅の踏襲を求める声相次ぐ
住宅型ホームの登録制、既存施設の大半が対象に
ケアマネの平均年齢、55歳超える
居宅介護支援の事業所数、8年連続で減少
デイサービスの事業所数、4年連続減

訪問介護の事業所数、過去最多を更新　続く微増傾向
保険外サービス、未経験層の4割が「利用したい」
ケアプー、来年1月にシステム統合　利用料は無料へ
介護職員の離職率、過去最低を維持　全産業を下回る
スポットワーク、介護事業所の8.9%が活用

単発バイトから長期採用へ　タイミーが新プランを8月から展開
来年度の介護報酬改定、関係団体の意見交換会

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

マンスリージャーナルについて

■法令や制度が苦手（好きでない）な方へ
　マンスリー･ジャーナル「月刊介護ニュースダイジェスト」

■信じてもらえないかもしれませんが……
　私も法令や制度、そして最新情報については
　苦手ですし、あまり好きでないですし、
　正直、あまり興味もないのです（笑）

■ただ、そうも言ってられない立場なので……
　毎週のメルマガに加えて、毎月話す機会を作ってしまい
　法令や制度、最新情報に触れる機会を作ろうと思って始めたのが
　このマンスリー・ジャーナルです

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

継続的な学習の重要性！

■成長のために

・ギャップを埋める＆強みを活かす

・時間とエネルギーをかけた分だけ成長する

・よい情報を浴び続ける、そういう環境に身を置く

・成長は螺旋階段、その時々で受け取るものも違う

・ミラーニューロン効果（思考･行動に影響、時間差で効果！）、感度が高まる

・知れば知るほど分からないことが増える、知りたいことが増える

・学びが理想をつくり、理想が学びを生む

■メンテナンスのために

・いつも良い状態を保てるとは限らない……。

・定期的に軌道修正させてくれる、人・環境の存在が必要

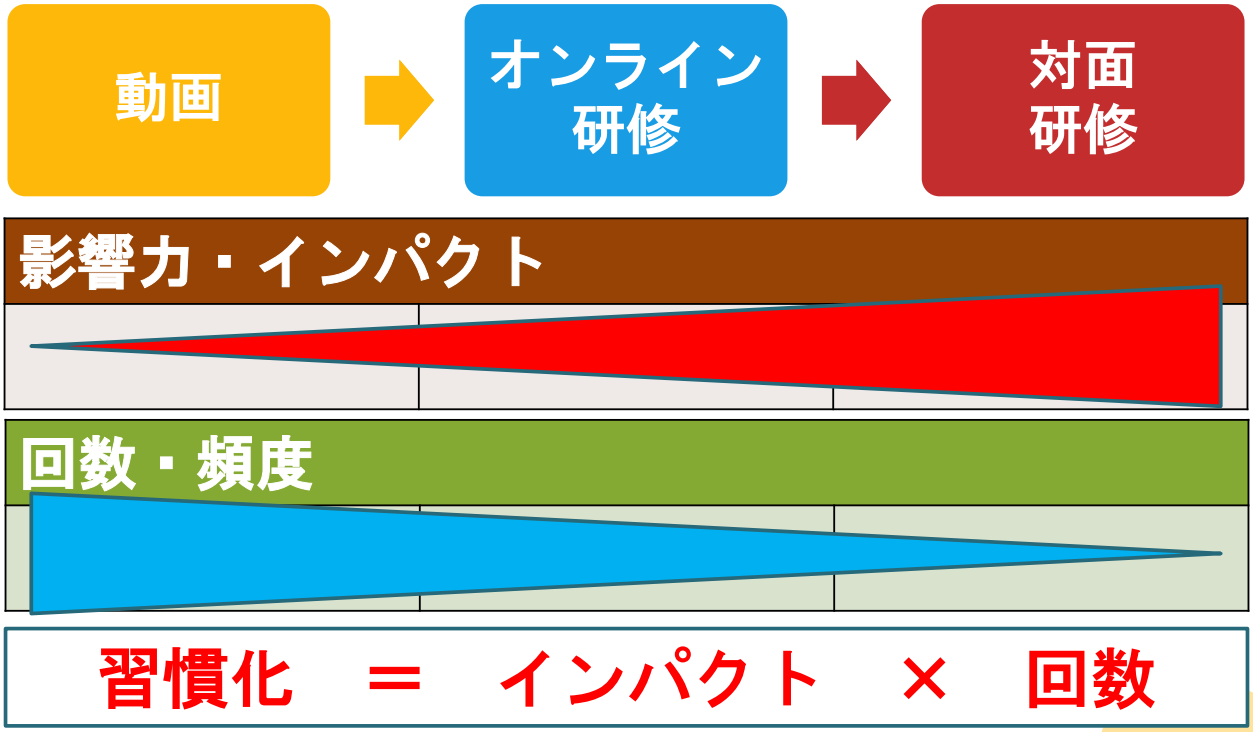
■自分自身、そしてチームワーク

・シャンパンタワー：自分が満ち足りて、人を満たすことができる

・研修はチームで参加、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

継続的な学習の機会を持つために



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

介護現場をよくするライブラリー



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.



居宅・訪問系 地域密着デイ等 小規模事業者向け

上記以外の 法人様向け

個別コンサルティングをご希望の方

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

リーダーズ・プログラムの全体像

1 毎月10本程度のオンラインセミナー（アーカイブあり）

毎月、タイムリーでホットなテーマの研修等を実施します。研修終了後には質疑応答の時間もありますので、是非、リアルタイムでご参加下さいませ。会員法人の職員さんならどなたでも、PC、スマホからご参加頂けます。

2 経営から現場まで！全600本の動画コンテンツ
（裏面に代表的な動画を掲載しました）

これまでのオンラインセミナーを収録した動画コンテンツが全て見放題になります！経営から現場まで、コンサルティングレベルの内容を学んで頂けます。もちろん、各種法定研修もこれで行って頂けますし、特定事業所加算算定要件の個別研修も実施しやすくなります。会員法人の職員さんなら、いつでもどなたでも、PC、スマホからご視聴頂けます。

3 毎月1回90分のQAグループコンサルティング

毎月1回、会員さん向けのグループコンサルティングを開催しています。質疑応答を中心としていますので、是非、ご質問を用意してご参加下さいませ。また、質問がない場合でも、他法人さんの取り組みなどを知る機会にもなります。参加者さんにはセミナーや動画とは違った学びや刺激があると、喜んで頂いています。

4 各種特典も多数あり！

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

研修・動画の内容
経営から現場まで600本以上！



研修・動画について

- はじめて研修が楽しいと思えました！
- 毎月のセミナーはホットな内容が多くありがたい！
  月1回の職員研修で、みんなで集まって視聴しています。
- 動画は、特定事業所加算などの個別研修でも大活躍です。
- 研修資料や企画を一から作ることが難しかったので助かっています！
- 事前学習動画＋対面研修の組み合わせは、非常に効果的で効率的です！
- （法定研修）深掘りもされていて、新人からベテランまで、
  全職員に聞かせたい内容だと思った。1コマが30分というのも受講しやすいと思った。
- （法定研修）これで運営指導対策について1つ安心できた。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

【NEW!】階層別研修パッケージ

法定＆新人研修	管理者 リーダー向け	セレクト パック30 2026版	けあトーク 面談・説明 クレーム等 トレーニング アプリ ※非売品
基礎研修35コマ	管理者・リーダー 基礎12コマ	基礎動画10本	通常は リーダーズ プログラム 会員のみに ご提供する アプリです
新人研修パック	特典動画20本	毎年更新20本！	
6分野横断も		最新情報 毎月更新！	

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

介護と介護事業の両輪から、その人らしい暮らしと人生を応援する！
「学び」「共感」「モチベーション」をもたらす研修シリーズ

介護と介護事業を守り、よくする！
経営者の右腕として、法人の中核を担う人を作る！

経営人財養成講座2026

■「強く、熱いミッション」の実現と
「あたたかい組織づくり」に貢献する！

天晴れ介護サービス総合教育研究所　株式会社
代表取締役　榊原　宏昌

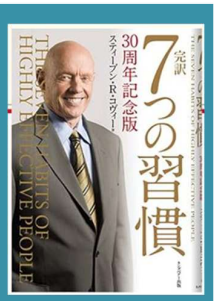
Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

経営人財養成講座2026

日程：13時～17時半		内容
5月27日	第1回	経営人財とは、管理者との違いとは、経営者の右腕として
■前編「知識・ノウハウ編」		
6月23日	第2回	事業構造・稼働・サービス
7月29日	第3回	人材採用・育成・定着
8月20日	第4回	リスク・財務・法令
9月29日	第5回	組織・仕組み・労務
■後編「人を動かす編」		
10月28日	第6回	職員を知る、対話力、傾聴･理解･承認･指導
11月24日	第7回	仕事を任せる、役割分担
■まとめ編「計画作成」		
12月22日	第8回	計画作成
1月26日	第9回	計画発表
2月24日	第10回	フォローアップ

「７つの習慣」実践会（2026年度予定）

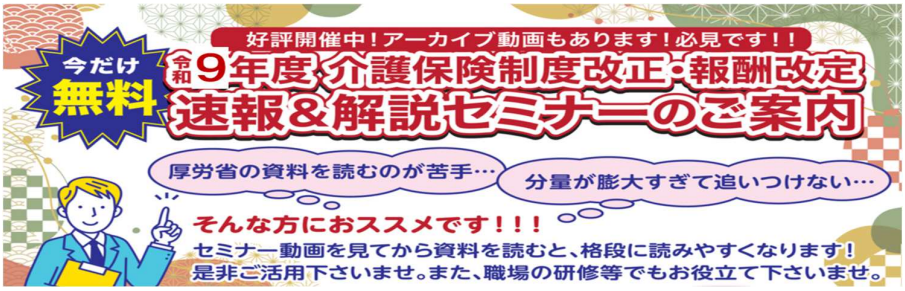
■ご参加頂くにあたって
・「７つの習慣(完訳版)」の書籍(紙)を用意し、該当箇所を読んでくる
・毎回お送りする「実践会テキスト(4ページ程度)」を事前に印刷しワークにも取り組んでくる
・毎回申込制、1回3,000円、6名程度想定、夜19時～22時
→どの回からでもご参加頂けます、間が空いても大丈夫です
繰り返し受講が超効果的！です
・zoom開催（カメラ・マイクON、できればPC、静かな環境で）
・原則、遅刻・早退なしで、終了後にアンケートをお願いします



4/5	第1回ｲﾝｻｲﾄﾞｱｳﾄ：1-46	10/18	第7回winwin：285-336
5/10	第2回7つの習慣：47-70	11/22	第8回理解に徹し：337-371
6/7	第3回主体的である：71-114	12/20	第9回理解される：371-380
7/19	第4回終わり描く：115-190	1/17	第10回シナジー：381-420
8/23	第5回最優先事項：191-250	2/21	第11回刃を研ぐ：421-473
9/20	第6回相互依存：251-284	3/21	第12回年間計画（書籍なし）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

制度改正　速報＆解説セミナー動画



参加者さんから頂いたご感想です

- 自分で資料を読むのは辛いので、毎回、**要点を整理して分かりやすく解説**してくれて本当に助かります！（女性、40代、管理者）
- 今回の改定は、本セミナーをずっと受けているので流れがよく分かり、**いつもより不安が少ない**です。（女性、40代、経営者）
- 経営や現場のこともよく分かっている講師の解説なので、事業計画や現場の**実践に役立つ内容が多い**です。（男性、50代、本部）
- 大変勉強になりました。**無料ではもったいないくらい**です。（男性、60代、経営者）
- **ものすごく整理できました**。ありがとうございます。（50代、男性、経営者）
- こうして見ると、このライブは**業務の振り返り**でもあるので**毎回勉強になります**。引き続き追っかけていきたいと思います。（30代、男性、介護職員）

■以下3本必見です！
・介護保険部会まとめ
・補助金＆処遇改善加算
・職場環境等要件詳細

■さらに！
ご登録頂いた方には
「運営指導対策セミナー動画（通常有料）」
プレゼント中！



8月19日（水）
19時～22時

https://contents.ichiguu.com/p/on-line-summit2026-opt?ftid=QJgrphGRvE8v

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

【通常10万円相当⇒無料！】創業10周年記念！介護と介護事業をよくする８分野連続セミナー

新人研修から業務効率化、稼働率向上、サービス改善、人材採用、事業計画まで幅広く扱いますが、いずれも経営力･組織力･マネジメントの視点からお話します

1．新人研修（8月10日）
2．職員育成（8月13日）
3．管理者、リーダー育成（8月21日）
4．経営人財の養成（8月28日）
5．業務効率化の具体策（9月2日）
6．稼働率・サービス改善（9月9日）
7．人材採用・育成・定着（9月16日）
8．事業計画の策定と運用（9月25日）

８月１０日（月）開講！

https://www.appare-kaigo.jp/8fields

８月から９月にかけて開催予定です。
右のフォームよりご登録頂いた方に詳細をお送りしますので、
まずはご登録下さいませ。登録者限定の特別オファーあり！

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

こちらも是非ご覧くださいませ！

天晴れ介護サービス公式LINEに登録して「お得情報」と「特典動画」「限定セミナー」を手に入れる！

特典動画は「経営から現場まで！介護事業の永続的な成功を実現する３つの取り組み」「毎月の介護NEWSダイジェスト」もプレゼント！

天晴れ介護サービスYouTubeチャンネルに登録して「無料動画」で楽しく学習する！

約900本の動画＋数分のショート動画もあります！気軽に学ぶには最適です！朝LIVEはYouTubeからでもご覧頂けます（＾＾）

榊原のfacebookを見て毎朝5:55のLIVE配信（アーカイブあり）を視聴する！

朝LIVEに加えて、毎日何らかの情報を発信中です！「ブログ」とともに、日々のモチベーション維持にお役立て下さいませ

天晴れ介護サービス公式メルマガに登録して「最新情報」と「特典動画」を手に入れる！

毎週4,000字の情報＋特典動画！特典動画は、毎月「通常は有料」で配信している動画を期間限定で配信しています（＾＾）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

マンスリー・ジャーナル

■次回は
９月２９日（火）２１時～
※セミナーカレンダーで
年間予定公開中！

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

マンスリー･ジャーナル（特集＆ニュース）

ご清聴ありがとうございました！
また次回、ご参加下さいませ(^^)/

天晴れ介護サービス総合教育研究所
榊原　宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.